

がん化学療法個人計画書

患者の状態により輸液の内容・量及び投与速度を変更する場合があります。

科名	適応がん種	レジメン名
	CD30陽性 ホジキンリンパ腫	A-AVD
投与予定	休薬を含めて1クール 28 日	6 クール施行

Rp	薬品名	申請投与量	計算量	実際の投与量	手技・用法	投与時間	投与日(day -)					
							1	15				
1	生食 パロノセトロン デキサメタゾン	100ml 0.75mg 3.3~6.6mg	/		点滴静注	30分	↓	↓				
2	生食 ドキシソルビシン	100ml 25 mg/m ²	#REF! mg/body	mg/body	点滴静注	5分	↓	↓				
3	生食 ビンブラスチン	100ml 6 mg/m ²	#REF! mg/body	mg/body	点滴静注	5分	↓	↓				
4	生食 ダカルバジン	250ml 375 mg/m ²	#REF! mg/body	mg/body	点滴静注	60分	↓	↓				
5	生食 (ルートフラッシュ)	50ml	/		点滴静注	5分	↓	↓				
6	生食 ブレンツキシマブ ベドチン 溶解用蒸留水	100ml 1.2 mg/kg	#REF! mg/body	mg/body 実際の 投与量 ml	点滴静注	30分	↓	↓				
7	生食	50ml	/		点滴静注	5分	↓	↓				

Rp	薬品名	薬価最小組み合わせ	備考
2	ドキシソルビシン		[総投与量]500mg/m ² を超えないこと
4	ダカルバジン		遮光
6	ブレンツキシマブ ベドチン		1vを注射用水10.5mlで溶解する。 (5mg/mlとなる) 最終濃度が0.4~1.2mg/mlとなるよう に生食または5%ブドウ糖液で希釈す る。

ブレンツキシマブ ベドチンは体重が100kgを超える場合は、100kgとして計算する。
末梢神経障害のgradeIに応じて減量・休薬・中止の規定あり。

デキサメタゾンは使用しない場合あり。

併用内服薬	用量(1日量)	用法	投与期間
アプレピタント	125mg	ダカルバジン投 与60~90分前	day1、15
アプレピタント	80mg	分1 朝食後	day2、3、16、17

備考	
----	--